



2025年5月29日

日本郵政株式会社
JPロジスティクス株式会社
株式会社 each×other
マルティススープ株式会社

JPロジスティクス株式会社の物流ネットワークを活用した クラフトビールの樽シェアリングサービスの実証実験を開始

日本郵政株式会社（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 増田 寛也／以下「日本郵政」）、JPロジスティクス株式会社（東京都千代田区、代表取締役 安達 章／以下「JPロジ」）、株式会社 each×other（イチ・アザー）（宮城県石巻市、代表取締役 CEO 高橋 由佳／以下「each×other」）およびマルティススープ株式会社（東京都千代田区、代表取締役 那須 俊宗／以下「マルティススープ」）は、4社共同でクラフトビールの樽（以下「樽」）シェアリングサービスの実証実験を開始します。

近年、クラフトビール市場の拡大とともに、味の豊かさやローカルの特徴を活かしたクラフトビールの開発が進んでいます。クラフトビール造りは、地域資源の利用や飲食店の活性化、地方税の増加に結びつくなど地域活性化に繋がる事例も多く、地域に移住し起業するクラフトビール醸造家（以下「ブルワリー」）も増加しています。

一方、ブルワリーは、醸造に必要となる設備の投資に課題を抱えていることが多く、飲食店に卸す際に使用する樽の洗浄や紛失なども課題の一つとなっています。今回の実証実験は、日本郵政グループの一員であるJPロジの物流ネットワークを活用した、樽の回収・シェアリングサービスを行うものです。本サービスを通じて、地域のブルワリーが生産効率の向上や商品開発に注力できるようになることで、地域企業の持続的な成長への支援につながることを企図しています。

実証概要

【実証期間】：2025年6月16日（月）～同年8月29日（金）（予定）

【参加企業と役割】

日本郵政：施策の全体統括/樽の受発送管理支援/CS対応支援

JPロジ：実証実験の主体者/樽の貸出/樽の受発送管理/樽の回収及び配送

each×other（ISHINOMAKI HOP WORKS）：ブルワリー統括/樽の洗浄

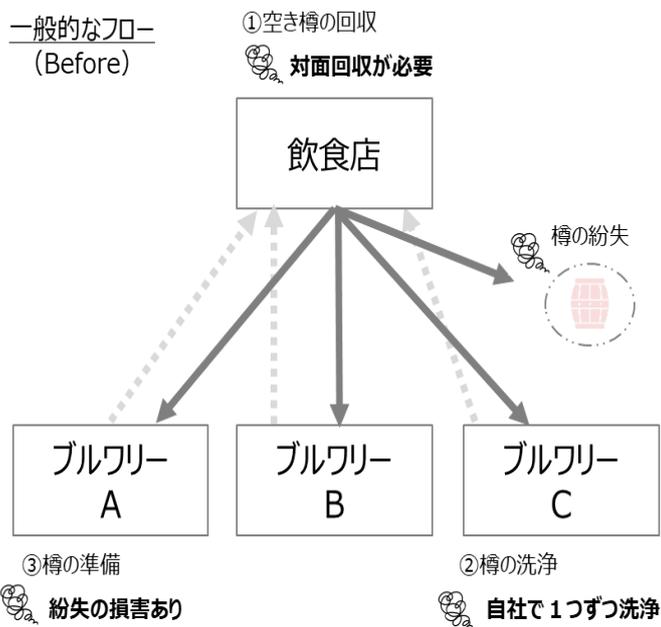
マルティススープ：位置情報システムの提供（協力企業：株式会社シーネットコネクトサービス）

【実証内容】：JPロジが準備した共通の樽を東北地方にある3社のブルワリーに提供します。ブルワリーがビールを卸した都内飲食店から、JPロジが空き樽を回収し、東北まで輸送します。その後空き樽はeach×otherが洗浄の上保管し、ブルワリーの請求に基づき、JPロジが必要な樽を必要なタイミングで輸送、納品します。

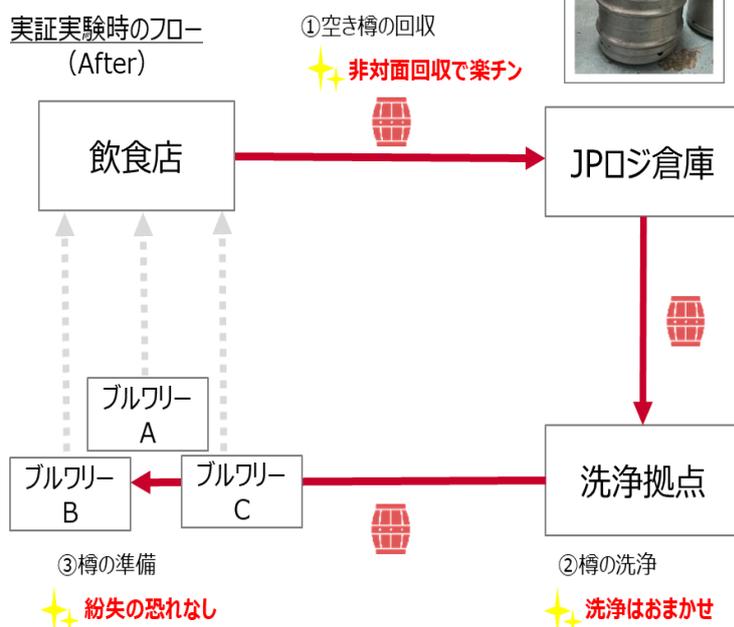
なお、共通の樽に GPS 端末を取り付けることにより、樽の紛失対策に活用するとともに、飲食店従事者と物流従事者の稼働時間の差分を考慮した非対面回収を実現します。ブルワリーおよび飲食店での保管日数等を分析・検証し、ブルワリーの繁忙対応や初期投資などの抑制に繋がる仕組みづくりの試行・検証を行います。

【樽の流れ】

一般的なフロー
(Before)



実証実験時のフロー
(After)



→ 実証実験の輸送対象 実証実験の対象外

【協カブルワリー】

ISHINOMAKI HOP WORKS	秋田あくらビール	HOPDOG BREWING
東日本大震災で浸水した北上町農地で栽培したホップを使用したクラフトビールを作る石巻唯一のブルワリー。	造り酒屋の跡地に、醸造所を創業し、直営レストランも運営。レギュラー5種、季節限定約20種類のビールを製造。	秋田市最後の銭湯の跡地で地域に愛されていた思いを引き継ぐ。横手産ホップを使用し、オリジナルのビールも製造可能。
〒986-0822 宮城県石巻市中央1丁目3-14	〒010-0921 秋田県秋田市大町一丁目2番40号	〒010-0012 秋田県秋田市南通みその町6番27号
		
https://ishinomakihopworks.com/	https://www.aquila.co.jp/	https://hopdogbrewing.jp/

以上